

## グアテマラ政情（2012年8月）

平成25年2月5日  
在グアテマラ日本国大使館

### 1. 概要

- 7日、当国国会は日本の円借款案件「和平地域道路整備計画（Ⅱ）」を承認した。
- 27日、ペレス・モリーナ大統領は国会に憲法改正案を提出した。
- 31日、センテーノ財務大臣が2013年度国家予算案を国会に提出した。
- 8日、ニカラグアにおいて開催されたSICA特別首脳会合にカバジェロス外相が出席した。

### 2. 内政

#### （1）憲法改正案の国会提出

（ア）27日、「ペ」大統領は、リベラ国会議長に対し35項目から成る憲法改正案を提出した。右提出後の記者会見において、「ペ」大統領は、国会における本改正案承認に向けての戦略や緊急議案として可決される可能性については触れなかったものの、2ヵ月あるいは最長でも3ヵ月以内に本改正案が承認されることを期待している旨述べた。

（イ）4つの柱から成る憲法改正案の主な内容は以下のとおり。

#### （a）治安・司法（18項目）

（i）国家文民警察（PNC）の法的な地位を高め、治安部隊及び軍隊の機能との各任務の分担を明確にする。

（ii）最高裁判所（CSJ）の判事数を10名とする（現在は13名）。

（iii）憲法裁判所の判事の任期を10年（現在は5年）とし、判事数は11名（現在は10名）とする。

#### （i）透明性（8項目）

（ii）公共支出の予算執行のための信託及び社会基金を廃止する。

（iii）公務員としてのキャリアと同選考における基準を設ける。

（iv）地方自治体の予算を10%～11%に引き上げる。

#### （b）民主主義の強化（6項目）

（i）国会議員数を158から140名に削減の上、議員数を固定し、120名を選挙区、20名を全国名簿から選出する。

（ii）二大政党制を確立し、60の選挙区を設置する。

（iii）各選挙区で2名の議員を選出する。また、全国区名簿に推薦された20名は、単記名式により選出される。

#### （c）文化の多様性（3項目）

（i）国家がマヤ、ガリファナ及びシンカの各民族のアイデンティティーにかかる権利を認め、尊重し、保護することを定める。

（ii）当国における24の民族語（ガリフナ及びシンカを含む）の存在を改めて確認する。

(iii) 当国国民の芸術、科学及び技術の保存を認め、保護する。

(2) 2013年度国家予算案の国会提出

(エ) 31日、センターノ財務大臣は2013年度国家予算案を国会に提出した。右予算案の歳出規模は669億8,540万ケツアル（約85億8,700万ドル）で、2012年度国家予算比12.5%増。一方、歳入について、政府の税収見込み額は503億7,570万ケツアル（全歳出の75.2%）で、不足分は海外からの借款・贈与、国債発行等で補填される。

(3) 国会の動向

(ア) 1日、第2期通常国会が開会した。

(イ) 7日、自由民主会派（LIDER）の議員欠席のまま開催された本会議において、日本の円借款案件「和平地域道路整備計画（II）」が承認された。

(ウ) 23日、国会は国際復興開発銀行（IBRD）（中小零細企業支援：35百万ドル）及び米州開発銀行（IDB）（保健及び栄養分野におけるサービスの質とアクセスの向上：35百万ドル）による両借款を承認した。

(エ) 28日、当国国会は金融危機の際のリスク緩和を目的とした当国銀行・金融機関に関する法改正案を承認した。

(4) 与野党の動向

(ア) 2日、PPは、「ペ」大統領、シニバルディ通信インフラ住宅大臣、バルデッティ副大統領の各グループの対立が深まる中、「ペ」大統領グループから出されたアレクサンダー・カスティージョ同党副議員団長（「バ」副大統領派）の解任問題を巡り、長時間に亘り協議した。

(イ) 2日、国民進歩党（PAN）、統一会派党（PU）、国民大連合（CANA）の執行部は右3党の国会での同盟結成を発表。続く7日には、国民希望党（UNE）、ウィンナック（Winak）党、勝利（VICTORIA）党及び6名の無所属議員も停滞している国会審議の進展を目的に新規同盟を結成する旨明らかにした。

(ウ) 26日、無所属グループ（通称：紫のネクタイ）を率いるロベルト・アレホス議員は、同グループと「緑の党（Verdes）」（注：選挙最高裁判所には政党登録されているものの、現在、国会議員は輩出していない）との同盟・統合により結成された「みんなの党（Todos）」の最高指導者（maximo lider）に就任した旨発表した。

(エ) 31日、PU唯一の国会議員であったホセ・アレバロ議員は、同党を離党し、無所属議員となる旨発表した。

(5) 麻薬・治安関係

(ア) 9日、「ペ」大統領は、エドガル・グティエレス元外相を麻薬問題担当顧問に任命する旨決定。「グ」元外相は現行の麻薬政策に変わる代案を検討し、右問題にかかる報告書

をインスルサOAS事務総長に提出する予定である旨述べた。

(イ) 11日、米国海兵隊のメンバー170名が当国に到着。20日、「ペ」大統領は同部隊は当国国軍と今後4ヵ月間に亘り当国太平洋側における麻薬及び組織犯罪グループの活動の取締りに取り組む旨発表した。

(ウ) 13日、内務省及び薬物中毒・麻薬不正取引対策委員会事務局(SECCATID;Secretaria Ejecutiva de la Comision Contra las Adicciones y el Trafico Ilicito de Drogas)は麻薬関係機関に対し、麻薬の消費・乱用・取引を予防する戦略を作成するためのアイデアを提出するよう要請した。

(エ) 11日、当国ペテン県フローレスからティカル国立公園に向かう道路でマイクロバスに乗っていた外国人観光客20名が強盗の被害にあった。

(オ) 12日、国家文民警察(PNC)は、2012年1月1日～同年7月18日までに2,370丁の銃器を押収した旨発表した。押収した銃器の内訳は、ピストル917丁、機関銃493丁、リボルバー396丁、猟銃239丁、麻醉銃141丁、突撃銃51丁等。

#### (5) その他

(ア) 9日、国家開発基金(FONADES)技術委員会は、メンデスFONADES長官を当国国内の4市に供与される予定であった肥料を横領したことから解任する旨決定した。10日、メネンデス農牧食糧大臣は同長官の後任にオスカル・オソリオ氏を任命した。

(ウ) 20日、ホルヘ・デ・レオン氏が新人権擁護官事務所(PGR)長官に就任した。

(エ) 21日、犯罪捜査局(Direccion General de Investigacion Criminal: Digicri)の創設に関する法(政令15-2012)(2012年7月に国会承認)が官報に掲載された。

### 3. 外交

#### (1) SICA臨時首脳会合

8日、ニカラグアにおいてSICA特別首脳会合が開催され、当国から「カ」外相が出席し、中米地域の食料安全保障等について協議した。なお、同会合は中米和平合意25周年を記念して開かれたものであり、特別ゲストとしてインスルサ米州機構(OAS)事務総長他、当国からセレン元大統領が出席した。

#### (2) アサンジ氏亡命問題に対するグアテマラ政府の反応

22日、「カ」外相はパティエーニョ・エクアドル外相と会談した。同会談において、パティエーニョ外相は、カバジェロス外相に対し、23日にワシントンで開催される米州機構(OAS)臨時総会において、エクアドル政府のウィキリークス代表のジュリアン・アサンジ氏への外交亡命付与に関する共同宣言を支持するよう要請した。同会談後、「カ」外相は、パティエーニョ外相とは国際法により定められた基本的権利として今回の亡命につき協議したとし、亡命者の保護は国際法の基本原理の一つであることから、如何なる国家も今回のエク

アドルの決定に対し反対しないと考える旨述べた。

(3) ベリーズ・グアテマラ国境問題

14日、当国政府は、砂金を収集していた際、当国住民12名がベリーズ国境警備隊によりベリーズ側で逮捕された旨発表した。

(4) 在グアテマラ・スイス大使館の閉鎖

27日、ブルクハルター・スイス外相は、当国政府に対し同国の在外公館の再編成により、2013年7月1日までに在グアテマラ・スイス大使館を閉鎖することを決定した旨通告した。

(5) カナダ政府によるCICIGに対する活動資金の援助

29日、カナダ政府はグアテマラ無処罰対策国際委員会(CICIG)に対し総額5百万ドル(39百万ケツアル)の資金援助を行った。